

太田女子高等学校 学校評価一覧表① (令和4年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	○演習や言語活動を効果的に組み込むなど、生徒が意欲・集中力を持続できる授業を工夫する。 ○生徒の学力に応じた授業内容を工夫し、生徒の理解度や学習意欲を高める。 ○生徒が学校生活で充実感を得られるように環境を整える。	A	A		A	A	
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。		○55分を有効に活用し、授業改善に努めると同時に、土曜学習や課外授業の内容を充実させる。 ○教科・学年と連携し図書館の利用を促進する。	A	A		A	A
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。 ○生徒の65%以上が図書館を利用している。	A	A	55分授業への移行による実践効果を検証し、修正を図る。	A	A	
		○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。		○予習復習を習慣化させ、基礎学力と応用力を定着させるように指導、課題を工夫する。	B	B	読書・学習利用は伸びているので、調査利用をさらに呼びかけたい。 基礎学力(知識)の定着を基盤にしつつ、今後学年進行に従い、思考力・判断力・表現力の養成に指導の力点をシフトする。	B	B
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。	○進路希望実現のため、学年と教科との密接な連携のもと、指導にあたる。	A	A		A	A	
		○国公立大学の合格者数が120名以上である。	○授業・課外・補習等を通じて全体のレベルアップを図る。						現在、入試本番に向け、教員生徒共に鋭意努力中である。年度末に検証する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(2年)	○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(1年)				B		11月進研模試で偏差値60以上の生徒が38.5%(英数国)であった。7月よりも0.2ポイント上昇している。課題・課外などを通して苦手教科・苦手分野の克服させたい。 11月進研模試で偏差値60以上の生徒が26.8%(英数国)であった。7月よりも0.9ポイント下降している。学習における成功体験を通じて学習意欲の向上を図りたい。
		○しっかり清掃に取り組みしていると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が自主的に清掃活動を行うことができるよう、環境を整える。	A	A		A	A	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が自主的・積極的に活動するような行事計画を立案させる。	A	A		A	A	
		○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○本校いじめ防止プログラムに従い指導を行う。	A	A		A	A	
	6 生徒は健康で、規則正しく生活していますか。	○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努力していると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が健康管理できるよう情報提供を随時行い、健康管理を	A	A		A	A	
		○部活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が目標を持って積極的に活動できるように指導する。	A	A		A	A	
○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。		○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が80%を超えている。	○交通マナー向上及び事故予測回避の指導を行う。	A	A		A	A	
○ヘルメット購入の案内紹介は機会を複数回設け、見本を手にとって見られるようにする。		○自己管理能力を高め、学校を中心とした生活リズムを卒業まで保たせる。	○ヘルメット購入の案内紹介は機会を複数回設け、見本を手にとって見られるようにする。	A	A	スクールカウンセラーの支援を受けつつ、欠席がちな生徒に対して寄り添いながら継続してフォローする。	B		欠席がちな生徒に対してスクールカウンセラーの支援を含め学年団で寄り添いながら支援を継続する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年)	○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年)	B		欠席の多い生徒に対してスクールカウンセラーの支援を含め、学年団で寄り添いながら継続してフォローする。	B		欠席の多い生徒に対してスクールカウンセラーの支援を含め、学年団で寄り添いながら継続してフォローする。
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	○基本的な生活習慣を定着させ、魅力ある授業と、活気が出るようクラス経営を工夫する。	A	A		A	A	ICT機器を活用したSHRの形態や太田高校との合同授業など、新しい取組に対しても前向きに活動できる生徒が多いので、この意欲を生かしてより生徒が魅力的に感じる取組を考えていく。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○進路に関するLHRや進路講演会などの各種進路行事が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	○キャリアパスポート等を活用してLHRでの進路指導を充実させ、生徒の実態に応じた適切な進路指導を実施する。	A	A	各学年進路講演会等において生徒及び保護者向けに大学入試の現状や効果的な学習法などの情報提供を行い、進路意識を高める指導を続けて行っていく。	A	A	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭・地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	○PTAの各行事についての保護者への告知やアンケート回収の方法を改善する。	A	A	探究学習との連携により、研究成果のプレゼンテーションが行われ、生徒の主体的な学習態度を育成し、探究心を深めつつある。	A	A	
		○PTA関連行事に年1回以上参加している保護者が80%以上である。	○PTAの各行事についての保護者への告知やアンケート回収の方法を改善する。	A	A	コロナ禍の制約の下であるが、年1回以上の行事参加者は約80%を超えているので、今後も、保護者の教育活動参加を充実化させていきたい。	A	A	今年度の第1回アンケートよりも、保護者のPTA行事参加率が微減しているため、新型コロナウイルス感染状況を考慮しつつ、保護者の学校行事参加に向けて対策を進めていきたい。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○学校のホームページを月に2回以上更新する。	○全職員に更新方法を周知する。	A	A		A	A	
		○ICTを活用した情報配信に満足している生徒・保護者が70%以上である。	○職員会議と朝会は、年間半数以上、ペーパーレスで実施している。	○各種連絡、配付物やアンケートをオンラインで配信・回収する。	A	A		A	A
		○職員会議資料閲覧用と朝会用のフォルダを共有ネットワーク上に整備する。		A	A		A	A	

太田女子高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	A	A	A	○55分授業とカセット方式を導入し、新学習指導要領に対応した、生徒の主体性を重視する授業を実施した。 ○充実した習熟度別授業を目指し、授業研究を行った。 ○感染防止に留意しながら、生徒に寄り添った教育活動を実施した。	○55分授業とカセット方式導入の2年目として、更に充実した授業の実施を目指し、授業研究を進める。 ○多様な生徒の目標達成に向けて、有効的な習熟度別授業を実施する。 ○生徒の主体性を重視した教育活動を行い、学校生活に意欲的に取り組めるよう支援する。	
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。	A	A	A			
		○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的に適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	○書籍は学びの宝庫。ぜひ良書を多く紹介、提供して欲しい。 ○図書館の利用率は回数だけでなく調査方法を工夫する必要があるのではないと思う。	○生徒の進路実現を果たすために授業内容の精選や工夫を講じていく。 ○調査・研究利用に資する書籍をさらに充実させる選書を継続的に行う。	
		○生徒の65%以上が図書館を利用している。	B	B	B			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。 ○国公立大学の合格者数が120名以上である。 ○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(2年) ○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(1年)	○前年度を上回る結果が出ている。意欲的且つ適切な指導の結果と判断できる。○成果が上がっている。○スモールステップを充実させて基礎学力が身につくような学習指導をお願いしたい。○偏差値の具体的な数値目標が60以上40名でありかなり高い目標であると思う。Cであっても多くの生徒がしっかりと学習意欲をもって取り組んでいると思う。	A	A	A	(3月末の可否結果待ち) ○国数英総合で、1月進研模試で偏差値60以上の生徒は41.5%であった。(2月模試では42.5%) ○国数英総合は11月の模試では偏差値60以上の生徒は27%程度であったが、1月の模試では35%であった。	○新教育課程や入試制度改革に対応できるよう「思考・判断・表現」を重視した授業を展開する。 ○将来の進路をしっかりと考え、自分で選択させ、強い意志で目標に向けて勉強に向かう土台を造る。 ○生徒の進路実現に向け、各教科の弱点を把握し全体的な指導とともに、個々の状況にも対応していく。 ○生徒の自己調整力を伸ばす仕掛けを取り入れて、進路実現に向けての計画を実践する力を身につけさせる。
			○国公立大学の合格者数が120名以上である。	—	—	—		
			○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(2年)	—	B	A		
			○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(1年)	—	C	B		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○しっかりと清掃に取り組んでいると自己評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	○県内初アイス自販機設置を実現させた、生徒会の活動が評価できる。生徒主体の活動を教職員が支え、信頼関係の構築につながっている。○行事等では生徒の自主性を尊重し、指導・助言をして欲しい。○学校経営方針(教職員の行動指針)に示されているように先生方は子ども達のために真剣に向き合ってご指導してくださり感謝している。	○清掃用具の整備を継続し、清掃活動が取り組みやすい環境整備に務める。同時に清掃分担割当の再構成を実施する。	
		○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	A	A	A			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○学校評価システムでの肯定的回答が高かった事で評価できる。○ネットの安全・安心な利用について改めて指導して欲しい。	A	A	A	○学校評価システムでの肯定的回答が高かった事で評価できる。○ネットの安全・安心な利用について改めて指導して欲しい。	○「保健だより」や生徒保健委員活動を通じて、啓蒙活動を継続する。
			○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努力していると自己評価する生徒が80%以上である。	A	A	A		
			○部活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	A	A	A		
			○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。	A	A	A		
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が80%を超えている。 ○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年) ○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年) ○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が80%を超えている。	A	A	A	○マナーアップ運動を通じて、多くの生徒が、自発的にヘルメット着用していた事で、先生方の指導により交通安全意識が高いことに感心した。○入学説明会等でヘルメットの着用を呼びかけ100%の着用率を目指して欲しい。○欠席が多い生徒については、担任だけでなくチームで支援できるような計画して欲しい。○先生も生徒も1人で悩まず相談できる環境づくりを今後も継続して欲しい。	○欠席の多い生徒に対して、SCの協力支援を受けつつ、家庭と緊密に連絡を取り合いながら適切に対応する。 ○引き続き、学年団で連携を取りながら、支援を継続していく。 ○悩みがある生徒に対して、SCの助言を踏まえながら家庭との連絡を密にし、学年団で協力して支援体制を継続する。	
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年)	B	B	B			
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年)	B	B	B			
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	A	A	B			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○進路に関するLHRや進路講演会などの各種進路行事が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	○グランドデザインの目標実現に向けた活動がスタート出来た事が評価できる。○キャリア教育を充実させて、進路実現に向けて意欲的に取り組めるようにして欲しい。○生徒が自分の将来について語る姿を見て、進路指導が充実していることが伺えた。	○時宜を得た進路講演会を実施し、進路を考えさせるような情報提供を行う。さらにLHRにおいて細部に行き届く個に応じた進路指導を実践する。	
		○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○PTA関連行事に年1回以上参加している保護者が80%以上である。	A	A	A	○コロナ禍のなかで、学年単位で進路講演会等実施できた。保護者の参加率は、どの学年も80%以上を越えており、次年度以降も行事の運営等を充実させたい。	○HP更新が積極的に行われていた。○ソフトボール部による道路清掃など大女生のすばらしさを地域にどんどんPRして欲しい。○コロナ禍であっても感染防止対策を講じて行事を実施しており、学校と家庭・先生と生徒の絆が深まったのではないかな。	
		○学校のホームページを月に2回以上更新する。	A	A	A			
VI 教育のデジタル化に努めている	10 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○ICTを活用した情報配信に満足している生徒・保護者が70%以上である。	A	A	A	○欠席メールを導入した。また、クラスルームや学校Webページで情報配信を行った。 ○朝会はkinakoで行い、職員会議はクロームブックを活用してペーパーレスで行った。	○GSN一斉メール等、円滑に情報発信しており、保護者目線での対応に満足できた。○欠席連絡等、業務改善を今後も取り入れて欲しい。	
		○職員会議と朝会は、年間半数以上、ペーパーレスで実施している。	A	A	A			